

平成30年度学校評価実施計画

学校名	大分県立日田支援学校
-----	------------

前年度評価結果の概要	重点目標1 ○ ・PATHの技法を取り入れた支援ミーティングは対象の児童生徒に実施できている。また、ミーティングを実施して明らかになった指導内容について、個別の指導計画に位置づける手順についても確立できた。	● 今後は、個別の指導計画に位置づけた指導内容が、一人一人のキャリア発達に直結する最近接領域となり、卒業後を見据えて「自分らしく生き抜く力」となるような取り組みが求められる。
	重点目標2 ○ ・授業力自己診断シートを活用して自己の指導力を振り返り、授業づくりミーティングにより個々の課題を改善するとともに、教材・教具についても工夫改善が成され、教育の質の向上につなげることができた。	● 教員一人一人が課題意識を持って授業改善に臨んでいるが、児童生徒の発達段階を踏まえた上で、一人一人のニーズに合った指導ができる力量をさらに高めるための「学び合い」「高め合う」教員組織の構築が必要である。
	重点目標3 ○ ・県西部の特別支援教育の充実と災害時を想定して取り組んだ防災対策については、災害時の一斉メールの整備や防災マップの完成等一定の成果を上げることができた。	● 今後は特別支援学級への支援の強化と災害時を想定した自治会との連携など、さらに安心安全な環境の整備が求められる。

学校教育目標	中期目標	重点目標
児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行い、その可能性を最大限に高め、心豊かでたくましく、みんなとともに自分らしく生きる力を養い、自立と社会参加を目指す人間を育成する。	①卒業後の姿を見据えた、小・中・高一貫教育の推進と「自分らしく生き抜く力」の育成 ②障がいの重複化・多様化に的確に対応するため、専門性高い教員組織の構築 ③県西部地域におけるセンター的機能の強化と、家庭・地域との協育・協働の推進及び安心・安全な学校作り	【チーム日田(組織力の強化)】 (1)卒業後につなぐキャリア教育の推進 (2)専門性の向上 (3)安心・安全な学校づくり

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
(1)卒業後につなぐキャリア教育の推進	・高等部3年生の希望進路達成率を100%にする。	・組織的な進路指導体制の充実を図る。	・産業現場等における実習への保護者参加100%(実習挨拶または実習見学) ・進路決定に向けてのマニュアル作成(年2回検討) ・就労支援チェックリストを活用した保護者面談(2回)と生徒の振り返り学習(年3回) ・進路に関する職員研修会(年3回)	PL:進路主任 SL:高等部主事
		・小学部・中学部・高等部と一貫した基本的生活習慣の確立を図る。	・あいさつ週間、清掃強化週間を設定(各学期1回) (一日のあいさつや清掃の様子を学部ごとに目標設定し評価、学期ごとに表彰)	PL:特活主任、庶務主任 SL:各学部主事
(2)専門性の向上	・授業作りミーティングを活用した一人一提案授業の実践100%	授業改善の取り組みを学校研究に位置づけ、各グループでOJTによる授業改善の取り組みを行う。	・グループ内での一人一回提案授業(100%) 各学部で、教科別的小グループを設定。教材研究や授業構想を深める授業作りミーティングを行う。	PL:研究主任 SL:教務主任
		・個別の指導計画を基にした目標・指導・評価の保護者への明確な説明と保護者理解の深化を図る。	・「通知表」の様式変更に関する説明会の実施(全保護者へ説明) ・「個別の指導計画」を用いた保護者説明(年2回100%) ・「個別の指導計画」を用いた指導内容、評価内容理解について保護者によるアンケート満足度100%	PL:教務主任 SL:各学部主事
(3)安心・安全な学校づくり	・環境整備や一人ひとりを大切に安全指導・保健指導の取組に対する教職員アンケート満足度100%	・児童生徒の適切な実態把握を行うために教職員の人権意識の向上と各種アセスメント技能の研修を行う。	・実態把握に向けたアセスメント研修(年2回) ・人権教育研修(年3回) ・人権感覚チェックリストを活用した日常に指導の振り返り(月1回)	PL:ラポール(人権教育) SL:ラポール(教育支援)
		・ヒヤリハット報告、傷病者事故発生時の対応マニュアルを基にした緊急対応訓練の実施を行い安心・安全な学校環境作りを行う。	・緊急対応訓練(年5回…全体1回、医療的ケア1回、各学部3回) ・ヒヤリハット報告(学部月1回、全体2ヶ月に1回)	PL:保健主任 SL:各学部主事
		・初期対応マニュアルを活用した避難訓練や地域との防災に対する話し合い等を行い環境整備を行う。	・大雨対応等避難訓練と検証(5月、12月) ・組織的な災害防災体制作りの構築(10月) ・災害時の職員研修(年3回) ・地域との防災対策委員会(年3回) ・環境整備に係る予算内の計画実務執行100%(安全点検による処理改善)	PL:生徒指導主任 防災アドバイザー SL:事務室